

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 8月19日（日）

二学期を迎えるにあたり、子どもの夏休みの様子を見返し、心新たにして勉学に取り組み、規則正しい毎日を過ごせるよう、家族全員で支えていきましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

新米補導委員

戸倉上山田地区少年補導委員

前任者と区長さんにお問い合わせされて、この補導委員の役を引き受けました。月に二回、公園や児童館などを見て回る仕事だからと簡単に考えていましたが、五月の連休明けの新潟の悲惨な事件で考えを改めさせられました。見回る人がいることで事件事故の防止になるんだと、そのために補導委員がいるんだと、そう思いました。

公園を見回ってみると、子ども連れのお母さんがいたり、おじいさんが孫の相手をしていたり、また、児童館の外では迎えるだけのおじいさんを待たせて遊んでいる子。大人の人がいてくれるだけで安心できます。また、公園によってはバスケットボールのゴールで遊ぶ中高生がいる、これも安心できます。でも、時間帯が違うのか、人のいない公園もあります。避難場所として新しくできた公園は、遊具に検査証が貼られていて安全確認もされています。トイレもきれいに使われているようです。公園が多い地域、避難場所としての公園新設を切望している地域と違いがあります。早く改善できればいいなあと思います。

公園の子ども達は、声をかけると元気にあいさつを返してくれます。せっかく公園に来ているのに、ポータブルゲームで遊んでいる子。家ではお母さんに叱られるからかな。友達と宿題を一緒にやっている子、「終わったら遊ぶんだ」と答えてくれた。宿題を後回しにしないんだと感心しました。

あいさつの大切さを教える時、ただあいさつしようじゃいけないと思います。あいさつすれば、相手の人は「この子はどこの子だろう、何してんだろう」と気に掛けてくれるはず。何かあればその人に手助けしてもらえらるはず。そのためにあいさつがあるんだと教えたい。まだまだ至らぬ補導委員ですが、子ども達や地域のためにこの補導委員を頑張ってみます。

～7月の補導委員会議より～

7月2日に定例補導委員会が開催され、以下の事項等について協議・連絡をおこないました。

1. 千曲警察署生活安全課より
5月・6月の声かけ事案の把握4件。夏場、公然わいせつ・露出・後ろからの痴漢が予想される。
2. 5月・6月の補導活動を振り返って
3. 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」県下一斉街頭啓発活動：7月2日（月）朝7時～8時
※屋代駅にて実施：地域振興局・千曲警察署・生涯学習課・補導委員会（会長）参加
4. 7・8・9・10月の補導計画について
 - (1) 通常補導：8月までは午後5時～7時、9月からは午後4時～6時に巡回
 - (2) 夏祭り特別巡回（温泉夏祭り・納涼煙火大会・屋代夏祭り（一重山不動尊縁日）・千曲夏祭り・屋代ヨイヨイの5か所実施）
 - (3) 環境チェック活動（店舗巡回）・夏休み中のPTAとの合同補導：午後3時～5時など
5. 長野県青少年補導活動推進大会へ参加：7月12日（木）諏訪市文化センター 補導委員20名参加
※他地区の活動事例から学ぶ。来年は、千曲市補導委員会が事例発表をします。



補導日誌から



「愛の声かけ」をつなげたい

6月 6日（水） 5:00pm～7:00

更埴中央公園のグラウンドでは、子ども達がサッカーをしていました。グラウンドの南側で2人一組と5人一組で。若い夫婦が、2歳位の男女のお子さんとスベリ台で遊んでいました。お子さんに、「こんにちは、転ばないように気をつけてください。」と声をかけました。若いご夫婦にも「こんにちは」と声をかけました。そのご夫婦も、「こんにちは」と2人一緒に挨拶を返してくれました。

温かい親の視線

6月 7日（木） 5:00pm～7:00

内川公園は広々とした公園で、水飲み場は熱中症の予防に威力を発揮しそうです。遊具で遊ぶ子どもや公園内を走り回る子ども達が大勢いました。スベリ台にいる小さな子どもには親が付いていたので安心でした。更埴中央公園は大きな公園ですが、一周して巡回しました。グラウンドでは更埴西中のサッカーチームが、土日の大会に向けた練習を終えたところでした。他にも2組（2名+2名）サッカーをして遊んでいました。予定の帰宅時間を確認させ、気をつけて帰るよう声かけをして別れました。

忙しいけれど元気

6月 18日（月） 5:00pm～7:00

科野の里ふれあい公園：午後5：20頃だったため、多数の小学生や小さい子ども達が遊んでいました。その中で、サッカーボールで遊んでいたグループに声をかけると、すぐ私たちの周りに集まってきて、元気な声で答えてくれました。小学4年生でバドミントンクラブに入っており、合宿練習等忙しく活動していることなどを話してくれました。この様なグループが3つあり、それぞれ楽しそうに遊んでいました。全員で30名位いました。それぞれ活動的に動いていて、私たちの方が元気づけられました。

親子のかかわり

6月18日(月) 5:00pm~7:00

古代体験パークで、2人の子どもがお母さんとかぶと虫捕りをしていました。今年は桜の開花も早く、かぶと虫が出るのも早いようです。かぶと虫が捕れたと、カゴを生き生きとした表情で見せてくれた子どもさんに、自分の子育ての頃を思い出しました。そして、「子どもさんとうこうしてふれ合える時間は、人生でも僅かな時期です。大切にしてくださいね。」とお母さんに声をかけて別れました。今日は極力幹線道路を走らずに、町内の路地を通ることを目標にして、御麓^{みろく}地域まで足を伸ばしてみました。青パトの巡回が子ども達の安心・安全につながっていることを願いながら。

「ありがとうございます」は魔法のことば

6月21日(木) 5:00pm~7:00

内川公園では小学5年生2人が机の椅子に座って算数の宿題をしていました、「こんにちは」と挨拶すると、大きな声で挨拶を返してくれました。「昨日と今日2日大池キャンプに行ってきた、とっても楽しかった。明日はその代わりに休みになる。サッカー大会が戸倉広場である。」と元気よく話してくれました。「頑張ってる」と言うと、「ありがとうございます」と、とっても気持ちのよい礼儀正しい挨拶が返ってきました。親御さんの躰がしっかりできているなあと感心しました。

【環境チェック活動から】

青少年に有害な地域環境実態調査(通称:環境チェック活動)を実施いたしました。突然の訪問にもかかわらず丁寧に対応していただき、ありがとうございました。埴生小学校区の訪問の様子を紹介します。

丁寧な対応に感謝

7月6日(金) 3:00pm~5:00

○ドラッグストア <協力店として新規指定 協力店シールの交付>

責任者の方に趣旨(青少年が頻繁に利用したり集まりやすい店舗等を「青少年健全育成協力店」とし、「ひまわりっ子育て県民運動」を推進する等)を説明したところ、協力店となることを承諾していただいた。協力店シールを交付し掲示を依頼した。

○レストラン、喫茶店等飲食店 <協力店の指定済 協力店シールの掲示あり>

マスターに対応していただいた。店の営業時間は午前11時~午後6時。中高生の来店時の状況をお聞きすると、「女子生徒が2~3人で来ることがあるが、まじめで、スマホなどやらずケーキを食べたりおしゃべりしたりして帰っていく」とのこと。

編集室の窓

ふるさとへのねがい

10年程前のことです。山間地の6年生が修学旅行で東京へ出かけました。子ども達は大東京のにぎわいに感激していました。けれども、帰ってきてつづやきます。「木が多いここの方がいい」と。周りの子ども達もうなずきます。子ども達にとっては生活が染み込んでいる「今のここ」が一番なのです。たとえ不便であろうが不十分さであろうが、本人には関係がないようです。あの子たちは成人となり、今ふるさととどう繋がっているのでしょうか。

市の生涯学習課主催の「ふるさと自然体験学習会」が6月中旬に開催されました。帰りがけに感想文を書いてもらいました。子ども達の多くは、「たのしかった」「つかみ取りでたくさん取れてうれしかった」「また参加したい」と書いてあり、喜々とした自然体験学習会の様子がうかがわれました。そんな中、ある6年生のこんな一文が目にとまりました。

「千曲川に水のきれいな所に住む生き物がとれて、とれたことがうれしかったし、ほこりに思いました。」水のきれいな所に住む生き物がいるこの場所を誇りに思う・・・、自然豊かなふるさとへの安堵感と、これからも「よきふるさと」であってほしいという願いが未来を担う6年生から伝わってきます。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切であります。今の子ども達には夢がない、と言われていています。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

『さっか』になりたい

3年 古旗 あかり

わたしのしょうらいのゆめは、「さっか」になることです。わたしは、むかしから本が好きで、絵を元にしてお話を考えていることがよくあります。そして、わたしのゆめは、もうスタートしています。年長の時から、自分で本を書きしてきました。今までにいくつか書きましたが、まだかんせいしていない作品があるので、これから仕上げていきたいと思えます。しょうらいは、わたしの書いたお話をおおぜいの人に好きになってもらいたいです。



『強く』になりたい

3年 小板橋 快仁

ぼくのゆめは、世界一強くなることです。世界一強くなったら、テレビや映画のヒーローのように、人助けをしたいです。ぼくは、今、空手教室に通っています。はじめは、組手や型が力強くできませんでしたが、れん習していくうちにだんだん上たつしてきました。また、強いだけではなくて、やさしくなければいけないと思えます。たまには、けんかをすることもあるけれど、友達や兄弟にはやさしくしていきたいです。しょうらいのゆめに向かって、毎日がんばっていききたいです。

『びようし』になりたい

3年 小口 真歩

わたしのしょう来のゆめは、『びようし』になることです。私のかみの毛は、いつもおばあちゃんに切ってもらっていて、とても上手に切ってくれます。その時「わたしも、ほかの人のかみの毛を切ってみたいなあ。」と思えました。私も、びようしになったら、ギザギザにならないようにまっすぐに切って、おきやくさんによるこんでもらいたいです。そのために、今から紙をまっすぐに切るれん習をしたり、じょうぎを使わなくてもまっすぐな線がかけるようにれん習したりしたいです。そして、大人になってびようしになったら、今どは、おばあちゃんのかみの毛を切ってあげたいです。

『けいさつかん』になりたい

3年 江村 和大

ぼくのしょう来のゆめは、けいさつかんになることです。ぼくが、けいさつかんになりたい理由は、ぼくのお父さんがけいさつかんで、かっこいいなと思うし、世界を平和にしたいと思うからです。今、ぼくは、じゅう道を習っています。今からじゅう道をたくさんれん習して、わざをみにつけて強くなって、大人になったら悪い人をそのわざでたおして、世界を平和にしたいです。がんばります。

